●●●● 使用方法 ●●●●

<使用方法>

①シミ抜き皿に過酸化水素（35%）と、シミナックスαを1：1これを水で倍に薄めて使用。
黄変部分にぬりスチームガンで数秒間加熱し水で濯いでください。

②染色堅牢度の弱い物（例、ネクタイ等色が薄くて色が脱色しそうなもの）は部分的にテスト
してから使用してください。

③シミナックスαと過酸化水素が混ざったもので水分がなくなると汚れに対して爆発的に反応し
発熱しますので塗布して放置しないでください。

※注意点

・スチームガン用シミ抜き剤です。
ドライヤー乾燥ボックス等の加熱での漂白はお避けください。（焦げる場合がございます。）
・金糸、銀糸にも使用できますがテストしてください。
・シミナックスαと過酸化水素を混合したものをこぼした時、ぞうきん等で拭いた時は必ず水洗いしてください。
・ドライヤーで乾燥すると水分が無くなった時、発火する可能性があるので絶対使用しないでください。
・ドライ品でもシミ抜き処理をした場合は必ず水で洗い流してください。

<シミナックスαの放置・漂白の仕方>

◆基本的な考え方

蒸気などで漂白すると脱色しやすく又シミの部分が広かったり、多箇所ある場合、時間がかかり手間がかかる又、全体的にむらになりやすい。シミナックスαの場合、弱アルカリ程度で中性に近く漂白力が非常に強く低温度の過酸化水素（3%）程度でも漂白効果は強いので放置でも十分効果がある。かえって蒸気処理よりも効果がある。脱色もほとんどありません。
放置漂白処理は生産性、事故低減に役立つものです。

＜使用方法＞

シミナックスαと過酸化水素（35%）を9：1に配合し混ぜ、綿棒・筆でぬる。範囲の広い時はミニスプレーでスプレーする。処理した所は目印をつけておく。（とれると場所がわからなくなるから）約30分放置後シミがとれたか確認し、とれておれば水で流し、うすく残った場合は、ラストカット10倍希釈で洗い流す。とれない場合は繰り返す。

＜シミの種類＞

カビ、毛染、黄変処理、漂白で効果のあるものは可能性あり。

＜対象繊維＞

すべての繊維に使用できる。

＜注意事項＞

繊維が脆化しているもの、黄変などで繊維が劣化しているものは使用できません。

黄変の強力シミ抜き剤

シミナックスα

【シミナックスα】は、過酸化水素と配合し、蒸気熱で漂白する中性タイプのシミ抜き剤です。脱色が少なくあらゆる繊維に安全に使用する事が出来ます。

特徴

- ○あらゆる繊維に使用でき、脆化しにくい。
- ○着物・シルク製品の色・柄物の脱色が極めて少ない。
- ○動物性繊維の変色（黄変）が無い。
- ○蛍光染料の変色（黄変）が極めて少ない。
- ○中和いらず水で濯ぐだけ。
- ○漂白力、スピードは過炭酸以上。

成分 無機炭酸塩
多価アルコール
水

性状 概観：透明又は半透明液体
pH：8.0～8.5
荷姿：400ccポリ容器

■製造元 松井化学株式会社 兵庫県尼崎市水堂町3-4-3 URL：http://matsuikagaku.jp/
Tel：06-6438-7305 Fax：06-6438-4795 E-mail：cs@matsikagaku.jp